

VIII. その他の業務

1. 業界団体等との意見交換会

団体名	期日(場所)	出席者	内容
波佐見焼振興会事務局会議	平成27年 4月14日 5月13日、6月12日 7月14日、8月11日 9月15日、10月13日 11月17日、12月15日 平成28年 1月18日 2月16日、3月15日 (波佐見町陶芸の館)	佛田 正博、秋月 俊彦	各種事業、催事の情報交換・調整
天草陶石研究開発推進協議会と陶磁器業界団体	平成27年5月26日 (波佐見陶磁器工業協同組合)	武内 浩一、吉田 英樹、 河野 将明、阿部 久雄	天草陶石に関する意見交換会
三川内陶磁器工業協同組合	平成27年6月2日 (三川内焼伝統産業会館)	組合7名 佛田 正博、阿部 久雄 秋月 俊彦、永石 雅基 梶原 秀志、久田松 学 武内 浩一、吉田 英樹 依田 慎二	業務紹介・要望事項等 意見交換
長崎県陶磁器卸商業協同組合	平成27年7月1日 (長崎県陶磁器卸商業協同組合)	組合14名 佛田 正博、阿部 久雄 秋月 俊彦、永石 雅基 久田松 学、桐山 有司 吉田 英樹、狩野 伸自 河野 将明	業務紹介・要望事項等 意見交換
波佐見陶磁器工業協同組合と肥前陶土組合	平成27年7月29日 (波佐見陶磁器工業協同組合)	武内 浩一、河野 将明	意見交換会
波佐見陶磁器工業協同組合	平成27年9月10日 (波佐見陶磁器工業協同組合)	組合14名 佛田 正博、阿部 久雄 秋月 俊彦、永石 雅基 久田松 学、武内 浩一 桐山 有司、吉田 英樹 山口 典男、河野 将明	業務紹介・要望事項等 意見交換

2. 委員等派遣

会 名	期 日 (場所)	役名	職員名	機関・団体名
陶器まつり関係 者会議	平成 27 年 4 月 10 日 (波佐見町・陶芸の館)	委 員	阿部 久雄	陶器まつり 実行委員会
九州ファインセラ ミックス・テクノ フォーラム(K F C)運営委員会	平成 27 年 6 月 29 日 (福岡市・福岡朝日ビル)	運営委員	永石 雅基	九州ファイ ンセラミッ クス・テクノ フォーラム (K F C)
西九州テクノコ ンソーシアム・技 術交流WG委員 会	平成 27 年 4 月 22 日 平成 27 年 10 月 27 日 平成 27 年 7 月 31 日 (東彼杵町・東彼杵町役場) 平成 28 年 3 月 7 日 (佐世保市・佐世保工業高等専門学校)	委 員	永石 雅基	西九州テク ノコンソー シアム (N T C)
西九州テクノコ ンソーシアム・企 画委員会	平成 27 年 5 月 20 日 平成 27 年 11 月 11 日 (佐世保市・佐世保工業高等専門学校) 平成 28 年 3 月 24 日 (佐世保市・佐世保グリーンホテル)	委 員	永石 雅基	西九州テク ノコンソー シアム (N T C)
西九州テクノコ ンソーシアム理 事会	平成 27 年 5 月 29 日 平成 27 年 12 月 4 日 (佐世保市・JA 佐世保ホール)	理 事 (代理)	阿部 久雄	
西九州テクノコ ンソーシアム技 術シンポジウム 実行委員会	平成 27 年 8 月 26 日 平成 27 年 10 月 2 日 (佐世保市・佐世保工業高等専門学校)	委 員	永石 雅基	西州テク ノコンソー シアム (N T C)
日本セラミックス 協会九州支部常議 員会・支部大会	平成 27 年 4 月 17 日 (北九州市・ウエルとばた会議室)	常 議 員	永石 雅基	日本セラミ ックス協会
日本セラミック ス協会資源・環境 関連材料部会 第 1 回役員会	平成 27 年 6 月 17 日 (東京都・日本セラミックス協会)	幹 事	阿部 久雄	
日本セラミック ス協会資源・環境 関連材料部会 第 2 回役員会	平成 27 年 9 月 17 日 (富山市・富山大学)	幹 事	阿部 久雄	
日本セラミック ス協会資源・環境 関連材料部会 第 3 回役員会	平成 28 年 2 月 19 日 (東京都・東京工業大学)	幹 事	阿部 久雄 山口 典男	

日本セラミックス協会資源・環境関連材料部会第4回役員会	平成28年3月18日 (東京都・早稲田大学)	幹事 (代理)	山口 典男	
日本セラミックス協会陶磁器部会幹事会	平成27年4月10日～4月11日 (名古屋市・ファインセラミックスセンター) 平成27年7月10日 平成27年10月16日 平成28年2月19日 (名古屋市・ウインクあいち)	幹事	吉田 英樹	日本セラミックス協会
国指定史跡「肥前波佐見陶磁器窯跡」保存整備検討委員会	平成27年7月23日 平成28年2月26日 (波佐見町・波佐見町総合文化会館)	委員	久田松 学	波佐見町教育委員会
第2回協働検討委員会	平成27年5月21日 (東京都・東京ガス)	委員	永石 雅基	酸素PSA協働検討委員会
九州・沖縄産業技術オープンデー実行委員会	平成27年度九州・沖縄地域産業技術連携推進会議 企画調整会議及び 第1回広域連携推進検討WG 平成27年6月10日 (鳥栖市・産業技術総合研究所九州センター) 第2回広域連携推進検討WG 平成27年10月21日 (鳥栖市・産業技術総合研究所九州センター) 第3回広域連携推進検討WG 平成28年2月23日 (鳥栖市・産業技術総合研究所九州センター)	実行委員	秋月 俊彦	九州・沖縄産業技術オープンデー実行委員会

3. 一般公開等

3-1 一般公開

名称	一般公開
目的	長崎県の科学技術振興を目的に、県民の科学技術に対する関心と理解を得るため開催 (県内5公設研究機関で開催)
開催日時	平成27年11月23日(祝) 10:00～16:00
場所	窯業技術センター本館、作業棟
内容	(1)体験コーナー 1. 石膏で干支(申さる)を作ろう 2. 陶土で世界に1個の作品づくり 3. 食器に絵を描こう (2)クイズラリー 陶磁器、セラミックスに関するクイズ (3)販売コーナー 購入した食器にシールを貼ってオリジナル食器づくり ※新コーナーとして、世界遺産コンテスト(絵付け)、「長崎デザインアワード2015」入賞商品の展示を行った。
入場者数	584名

3-2 波佐見陶器まつり出展

名 称	第 58 回波佐見陶器まつり
目 的	本県の陶磁器に関する代表的なイベントである「波佐見陶器まつり」に、当センターのブースを出展し、長崎県の陶磁器産地の紹介や、窯元等との共同開発品の展示を実施し併せて研究開発の希望等に関するアンケート調査を行った。
開催日時	平成 27 年 4 月 29 日～5 月 5 日
場 所	波佐見町・波佐見陶磁器工業協同組合 2 階
内 容	(1)長崎県の陶磁器産地紹介 (2)当センターの業務等紹介 (3)窯元等との共同開発品の展示
入場者数	期間中の会場への入場者数：30 万 9 千人 (主催者発表)

4. 施設見学者数

(1) 見学者数の推移

年 度	27 年度	26 年度	25 年度
件 数	33	14	22
見学者数	1, 223	851	1, 067

(2) 主な見学者・団体名 (研修を除く)

見 学 者・団 体 名	人数	見 学 日
長崎新聞 ブランチの会「甲比丹 21」	31	平成 27 年 6 月 19 日
波佐見町立南小学校 4 年生 49 名、教諭 3 名	52	平成 27 年 7 月 2 日
長崎県議会農水経済委員会 現地調査	12	平成 27 年 8 月 5 日
川棚町立川棚小学校 4 年生 74 名、教諭 4 名	78	平成 27 年 10 月 16 日
長崎県立佐世保北中学校 3 年生 36 名、教諭 2 名	38	平成 27 年 10 月 23 日
一般公開	584	平成 27 年 11 月 23 日
長崎大学地域教育支援センター	50	平成 28 年 1 月 15 日
川棚町立小串小学校 4 年生 39 名、6 年生 3 名 教諭 3 名、財団職員 2 名	47	平成 28 年 1 月 22 日
西海市立西彼北小学校 4 年生 20 名 教諭 4 名	24	平成 28 年 1 月 28 日
西海市高齢者大学 生涯学習受講者	25	平成 28 年 3 月 8 日

【資料】

長崎県の窯業・土石製品出荷額

平成 26 年 1 月～12 月^注

項 目	企業数 (社)	従業員数 (人)	出 荷 額 (万円)	出 荷 額 対前年比 (%)
ガラス・同製品製造業	4	423	888,865	95.3
セメント・同製品製造業	77	1,073	2,228,555	102.4
生コンクリート製造業	57	795	1,745,518	100.0
コンクリート製品製造業	20	278	483,037	112.1
陶磁器・同関連製品製造業	75	1,017	594,529	105.5
食卓用・ちゅう房用陶磁器製造業	55	867	506,883	104.2
陶磁器製置物製造業	2	15	X	—
陶磁器絵付業	2	24	X	—
陶磁器用はい(坏)土製造業	1	6	X	—
その他の陶磁器・同関連製品製造業	15	105	57,724	107.8
骨材・石工品等製造業	18	251	467,075	103.7
砕石製造業	4	56	X	X
再生骨材製造業	2	25	X	—X
石工品製造業	8	58	46,451	89.5
鉱物・土石粉碎等処理業	4	112	286,348	—
その他の窯業・土石製品製造業	7	44	39,090	99.9
石こう(膏)製品製造業	5	27	X	X
他に分類されない窯業・土石製品製造業	2	17	X	X
合 計	181	2,808	4,218,114	101.4

注：資料は「平成 26 年長崎県の工業」より従業員 4 人以上の事業所の出荷額を転載